

1 事業情報					下水道事業評価(令和7年度)			担当課		ポンプ場管理センター							
実施方針		Ⅱ 安全・安心なくらしの実現			施策目標		2 地震に対する防災・減災を推進します		施策		② ポンプ場における耐震化の推進						
2 事業評価の概要																	
項目		内容															
施策目標		大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。															
施策		耐震性能の評価・調査診断を行い、耐震性能が不足していると判定されたポンプ場については、耐震補強を進めます。															
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)		被災による影響度が大きい施設を考慮し、横曽根中継ポンプ場、新堀中継ポンプ場の委託工事計画の見直しを実施します。															
期間		令和7年4月		～		令和8年3月											
予算額 決算額		予算額					決算額			執行率							
		単位:千円		総事業費		収益的支出		資本的支出		総事業費		収益的支出		資本的支出		執行率 単位: %	
		事業費計		0		0		0		0		0		0			
		工事費		0						0							
		原材料費		0						0							
		委託料		0						0							
		賃借料		0						0							
		その他		0						0							
		人件費		6,640						6,640						100%	
3 中間評価(事業の進捗状況)																	
執行状況		上半期執行額		0千円		事業進捗度		B 予定どおりの進捗									
		上半期執行率		0%													
進捗状況		横曽根中継ポンプ場、新堀中継ポンプ場の委託工事計画について、計画内容の検討を進めています。															
4 終了時評価(事業の達成状況)																	
達成状況		被災による影響度が大きい施設を考慮し、横曽根中継ポンプ場、新堀中継ポンプ場の委託工事計画の見直しを実施しました。															
5 指標																	
指標					R7		R8		R9		R10						
指標名		ポンプ場の耐震化率		単位	%	目標値	52.4										
算出式・根拠		(耐震化したポンプ場/全ポンプ場) × 100				実績値	47.6										
指標名				単位		目標値											
算出式・根拠						実績値											
指標名				単位		目標値											
算出式・根拠						実績値											
6 視点評価及び総合評価																	
視点	評価項目				視点評価		視点	評価項目				視点評価					
有効性	指標や目標値の達成度				B		説明責任	意見や苦情に対する適切な対応				B					
	目的に対する実施内容				A			情報発信の実施				B					
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)				B		組織学習	職員の知識向上のための取組み				B					
	投入した費用・労力に対する成果				B			知識の伝達				B					
評価理由(特記事項)										総合評価							
・今後の計画実施に向けての検討を行うことが出来ました。										B							
7 今後の実施方針等																	
事業を実施する上での課題及び改善方針										今後の実施方針							
・総合地震対策計画を進めていくなかで、実施設計や工事施工に関する調査不足もありましたが、計画の検討を行い遅れや見直しについて今後継続的に管理できるように準備を行っていく予定です。										現状維持で継続							